



横浜市立富岡東中学校

学校だより

第7号

令和 3年 10月 25日
横浜市立富岡東中学校

思いさえすればできるもの

校長 矢田 弘



気温が高い日が続いた10月でしたが、中旬頃から10月らしいさわやかな季節になりました。そして、急に涼しくなってきました。

夏休み明けから分散登校が続き、10月4日（月）からようやく全校生徒が登校できるようになりました。そして、子どもたちが楽しみにしていた部活動も再開され、日常が戻ってきました。前回、「当たり前前の方が貴重です」と書きましたが、全員がそろって学校に活気が戻る様子を見ると、ふだん当たり前だと思っていることが実はとても貴重なことなんだということにあらためて感じました。皆さんの顔に笑顔が戻り、とても活気がある学校になりました。

コロナ禍では、学校行事をはじめ様々な教育活動に中止や規模の縮小等が行われていましたが、この学校だよりが配付される頃10月26日に3年生は修学旅行に出発します。6月に予定されていましたが、コロナの落ち着きを期待して、9月に、さらに10月に延期したものです。判断にとっても悩みましたが、「実施するという判断をして本当に良かった」と心から思います。感染症対策や安全に留意して、子どもたちの心に残る修学旅行にしたいと思います。

さて、学校だより4号でエンゼルス大谷翔平選手の紹介をしました。メジャーリーガーになる夢を見事に実現し、さらに今シーズンは打撃では100安打・100打点・100得点、投手としては100投球回・100奪三振「クインティプル（quintuple）100」を達成するなどの大活躍で、毎日ニュースで取り上げられていました。残念ながらホームラン王になるには2本足りませんでした。ライバルチームのファンでさえ大絶賛です。来月発表されるMVPの最有力候補だといわれています。日本人としてとても誇らしいと思います。

大谷選手の二刀流の活躍だけでなく、ファンの心を惹きつけたのはその人柄だともいわれています。明るい笑顔や謙虚で礼儀正しく、さりげなく落ちているゴミを拾う姿などが話題になりました。大記録をつくっても、決して偉そうな態度をとることなく、常に前を向いて成長し続けようとする姿が人々の心に響いたのだと思います。歴史に残るような記録は素晴らしいけれど、それ以上に、人柄や生き方そのものを評価されていることがとてもうれしく思います。

大谷選手のような大記録を打ち立てることは簡単にできるわけではありませんが、謙虚な姿勢や夢や目標を実現させるために成長し続ける生き方をしようとすることは、多くの方が「思いさえすればできる」のではないのでしょうか。

私は陸上競技部の顧問をしているときに、「意識してできることが無意識にできるようになることが、身に付いたということだ」と言い続けていました。「こんな風に生きたいなと思い、それを意識して行動に移すこと、そして、それを続けること」で、誰にも負けないような誇ることを身に付けることができるのではないかと思います。けっして大きな功績は残せなくても、自分の特性や信念、得意分野を生かして成長すること。たとえば、「笑顔で爽やかな挨拶ができること」もその人にとっての大切な魅力になるのではないのでしょうか。

教育実習を行って

教育実習生



10月5日より3週間、教育実習生として受け入れて頂いている間宮といいます。担当は3年生の社会科です。私自身も富岡東中学校の卒業生で、久しぶりの学校生活を懐かしく感じながら日々を過ごしています。

実習を始めてすぐに、生徒の皆さんの真面目さを実感しました。チャイムが鳴る前に授業準備をして席に座る、黙って人の話を聴く、校則を守って行動する。当たり前前を当たり前前にやれるという姿勢は、一朝一夕では身につかないものです。私も見習っていきいたいなど、背筋が伸びる思いでした。

教員の仕事を実際に行ってみて驚いたのは、想像以上に業務が多岐に渡る事です。更に、その活動一つ一つに真剣に向き合っていくことの大切さも、先生方の背を見て学びました。授業づくりに始まり授業実践やホームルームにおいても、拙いながらも真摯に向き合うよう心掛けました。「生徒のため」とはどういうことか、本質を考え続けた三週間は、貴重な、有難い経験になったと心から思います。

「教育に興味がある」。思い返せば、初めて自分の将来について考えたのは、トミヒ3年生のときでした。このようなご時世で先生方もお忙しい中、実習をさせて頂いたことは感謝してもしきれません。言語化できることのみならず、五感で吸収したこと全て、後のキャリアに活かしていきたいと思っています。本当に有難うございました。

文化祭実行委員長として

文化祭実行委員長

今年度はコロナの影響で3年生にとっては最後の合唱コンがなくなってしまいみんな悔しい気持ちだったと思います。私も悔しくてたまりませんでした。これをバネにもっと「文化祭を盛り上げたい」という気持ちがでてきました。委員長になりしっかりとその役目を果たせるか心配でしたが文化祭実行委員が私を支えてくれました。そのおかげで最高な文化祭を作り上げることができたと思います。短い期間の中でも皆輝笑祭というスローガンを胸に全力で取り組んできました。この状況の中でも文化祭を開催できたことに感謝しかありません。この文化祭で一人でも多くの人に笑顔になってもらえるように私たちは頑張ってきました。新しい形の文化祭でしたが、今年度の文化祭実行委員会の委員長になれたことは私の中で貴重な体験となりました。



かいきしょうさい

第42回 文化祭 文化祭スローガン「皆輝笑祭」

～1人ひとりが輝き、たくさん笑い合える文化祭になるように～

校内展示

10月20日(水)～26日(火)

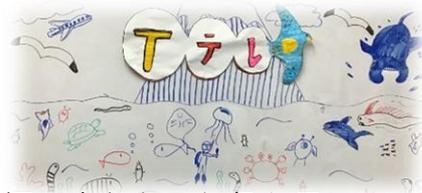
文化祭実行委員企画

10月20日(水) 5・6校時

テレビ放送にて



文化祭実行委員チャンネル 「Tテレ」



合唱コンリレー伴奏 今回、合唱コンクールの舞台で成果を発揮できなかった各クラスの伴奏者がワンフレーズずつのピアノリレーを行いました。

展示紹介 3階中央廊下に展示されている作品がより文化的な見方ができるように、プロの目で解説を加え、よい作品や奥の深い作品などを紹介しました。

英語スピーチ 夏休み中の7月28・29日に西公会堂にて行われた英語弁論大会に学校代表として出場したときのようすを字幕付きで紹介しました。

部活動発表 剣道部は20日、武道場にて「剣道基本技稽古法」の一部を披露しました。吹奏楽部は今年度初めて全学年が揃った演奏でした。「ワタリドリ」「風になりたい」「ディズニープリンセスメドレー」の3曲をお送りしました。

スゴ技・チャレンジ動画 1年生から3年生まで「我こそは！」という特技のもち主たちが集まり「スゴ技」を披露してくれました。ダンスや歌唱、バンドにもものまね、スポーツにけん玉、趣味の世界まで、多種多様なチャレンジ動画にくぎ付けになりました。

クイズ「トミヒ王」 トミヒ全校生徒参加型のクイズ番組です。学年別のクラス対抗方式で実施しました。回答するのは回答者ですが、クラスのみinnでサポートしてクイズに参加することができました。



今年も工夫を凝らして精一杯の力を発揮してくれました。保護者、地域の方の見学はできず残念でしたが、生徒たちは楽しんでいました。実行委員さんのアイデアにより、みんなの力が結集された素晴らしい文化祭となりました。実行委員さん、ありがとうございました。

アシスタントティーチャーの紹介

10月より毎週木曜日、青木 玲奈さんがアシスタントティーチャーとして本校で勤務することになりました。英語科で、バレーボール、書道を得意としています。

11月の主な予定

日	曜	行事	日	曜	行事
1	月	3年進路面談	16	火	⑥学習相談
2	火	3年進路面談	17	水	3年期末テスト・3年昼食なし
3	水	文化の日	18	木	図書館閉館
4	木	3年進路面談 2年進路保護者説明会・SC来校	19	金	
5	金	3年進路面談・PTA実行委員会	20	土	
6	土		21	日	
7	日	英検二次試験(会場)・部活動なし	22	月	
8	月	朝会・定例会	23	火	勤労感謝の日
9	火	④2年結団式・2年昼食なし	24	水	1、2年期末テスト・1、2年昼食なし SC来校
10	水	2年自然教室・SC来校	25	木	
11	木	2年自然教室 3年卒業アルバム個人写真撮影	26	金	再登校15:00
12	金	2年自然教室・3年進路写真撮影	27	土	
13	土	二年部活なし	28	日	
14	日		29	月	
15	月	⑥学習相談	30	火	総務会



- ① 11月から下校時刻が5時になります。暗くなるのが早くなってきました。近隣で不審者情報も出ていますので、防犯のために数人で下校するなど気をつけて帰るようにしましょう。
- ② 3年生は26日から修学旅行で京都・奈良方面に出かけます。また、2年生は11月に自然教室で道志村に行く予定になっています。昨年は宿泊行事が中止で今年も延期をしたので、とても楽しみにしています。日常では味わえない体験をし、たくさんの思い出を作れるといいなと思います。

